

杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会・会報

第4号

発行

2011年 4月 1日



戦争しか知らない子どもたち—アフガン・イラク写真展
(3/19~21)



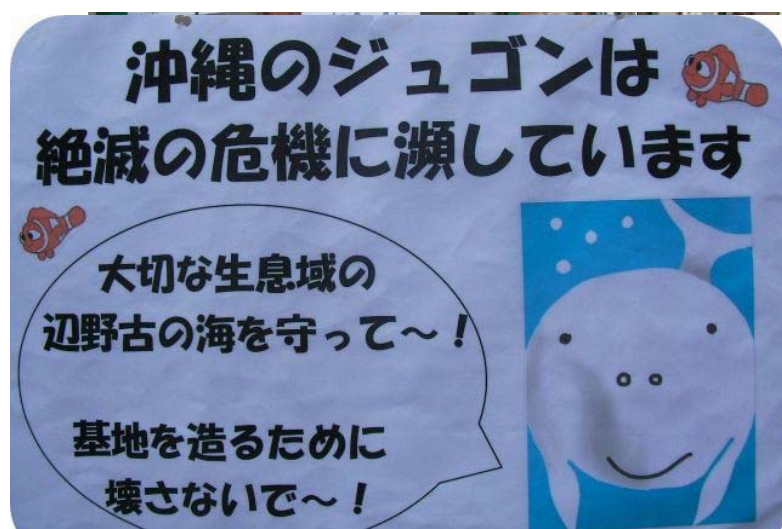
「月桃の花」歌舞団エイサー隊の人たちと(3/12)



毎朝各駅前市民にニュースを配布する杉谷さん

「市民参加でまちを変える」
の思いを多くの市民とともに

4/9(土)・杉谷さんとともに
まちを創る会の総会 (10時~)



4/2、3はジュゴン保護キャンペーンのパネル展示・グッズ販売
(予定)

杉谷さんとともにまちを創る会

向日市寺戸町辰巳4-1 中嶋荘1-101 TEL/FAX 932-1325

ホームページもご覧ください

<http://sugi.pupu.jp/>

3月の報告

3/12 例会「向日町競輪場の廃止問題と跡地利用を考える」

京都府の「向日町競輪事業検討委員会」が2月28日に出した報告書を参考資料に、競輪場の廃止問題について意見交流をしました。

京都府にとって向日町競輪場問題は、極論を言えば財政的に収益が上がるか負担になるかの問題にすぎないが、地元向日市民にとっては、その他に様々な側面がある。競輪場で働く人の雇用や競輪場から波及する経済効果がある一方で周辺環境の問題などがあり、市民には競輪場存続に否定的な意見が多い。

こんにちは
杉谷です

毎朝駅前ニュースを配ってます

昨年9月から、平日の毎朝7時～8時すぎまで、会社に出勤する前に、各駅前に立って市民のみなさんに「市民参加でまちを変えようー杉谷伸夫の個人ニュース」を配っています。

最初の頃は、「杉谷伸夫」と大書きされたのぼりを立てて駅前に立つことは、実は少し恥ずかしかったのですが、最近はいつも顔を合わせる人に挨拶し、ニュースを手渡しするのが楽しみです。「いつも貴重な情報をありがとう」「楽しみに読んでます」と声を掛けてもらうと、それはもう、疲れも睡眠不足も吹き飛びます。

毎週のニュースは、できるだけ向日市の市政やまちづくりの話題を取り上げたいと思っていますが、私の主張を伝えるだけでなく、市民の声をしっかり反映したニュースを作れるよう皆さんの声をもっと聞いていきたいと思えます。

意見交流の結果、とにかく廃止だけが先行して、跡地利用も決まらず放置状態となるのが最悪である。廃止と跡地利用計画作りはセットであり、まずは市民の願う跡地利用計画の検討を急いで進めるよう求めていくことになりました。跡地利用についての案も出ましたが、まだこれからという段階です。

3/19-21 アフガン・イラク写真展「戦争しか知らないこどもたち」

地元向陽高校卒業のジャーナリスト・西谷文和さんの写真展示と、直近の2月のアフガニスタン訪問報告を展示しました。

来訪者が少なかったのは残念ですが、「杉谷ひろば」を訪問してくださった方々と、写真展のテーマに限らず、震災・原発問題や若者の雇用問題、まちづくり談義など、ゆっくりと交流する時間が持てました。

事務所の看板ー自分達で作って経費節減

3月になって、「杉谷伸夫連絡所」の看板を作り、自宅、事務所や支援者宅などに置かせてもらいました。看板は最大12枚設置できるのですが、専門業者に作ってもらうと、けっこう高いのです。何と1枚＝1万3千円、12枚で16万円近くになります。そこで看板材料と文字を買って、会員のみなさんに手伝ってもらって、自分たちで貼って作りました。おかげで半額で製作できました。

今、会報を読んでもくださる人を増やしていこうと頑張っています。「市民参加で一緒にまちを変えていこうーこの思いを共有する市民とのつながりを広げていくことが、まちを変える力になると信じています。

会員のみなさん、市民のみなさん。一緒にやりましょう！



看板作りは、けっこう大変！

杉谷ひろば4月の催し

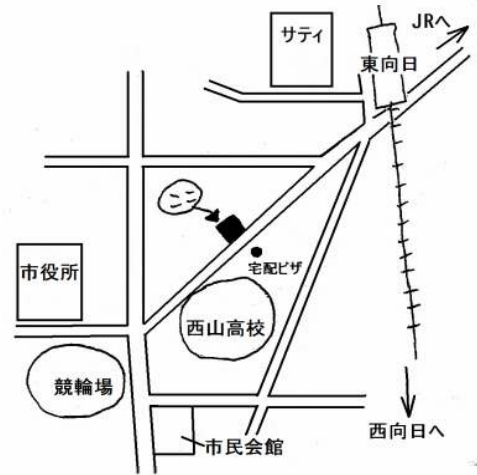
4/9(土)
10~12時

杉谷さんとともに まちを創る会総会

杉谷さんとともにまちを創る会が発足して、半年になります。「市民参加で市民が主役のまちづくり」をめざす、この会の半年間の取り組みを振り返り、私たちがめざす具体的な政策を作っていきたいと思えます。そして、ぜひ杉谷さんを議会に送り出しましょう。

総会には、会員でなくても、会の趣旨に賛同される方ならどなたでもご参加いただけます。当日、会員になっていただければ幸いです(会費は年1,000円)。

「杉谷ひろば」は土日OPEN



4/2(土)~3(日)
ジュゴン保護パネル
& グッズ展示販売

(午前10時~午後4時・参加無料)

沖縄県普天間の米軍基地を、同じ沖縄の名護市辺野古沖に移設する計画がありますが、そこは絶滅危惧種ジュゴンの貴重な生息地です。

ジュゴンの保護を訴えて活動しているジュゴン保護キャンペーンセンターの協力で、パネル展示と人気のジュゴングッズの展示・販売をします。(グッズは以降事務所で扱います)

4/17(日) 講演
福島原発事故
放射能汚染の真実

(午後2時~4時・参加無料)

放射能が検出されるたびに、テレビでは政府高官や「専門家」が、「ただちに健康に影響はない」と安全を繰り返して強調していますが、誰も信じていません。私たちは本当のことを知りたいのです。放射性物質による内部被曝の問題を取り上げ、追究して来られた小山潔さん(劣化ウラン禁止条約実現キャンペーン事務局長)から、テレビは決して伝えないホントの話を伺います。

4/23(土) 福祉講座
(第4回)
「保育所が変わる？」

(午前10時~12時・参加無料)

これまで、障がい者雇用、国民健康保険、生活保護の問題を取り上げて勉強してきましたが、第4回目は、保育の問題を考えます。保育にも市場原理の導入が進められていますが、果たして子どもたちにとって大丈夫なのか? ベテラン保育士から、今保育の現場でおきつつある大きな変化と、懸念される問題について、お話を伺います。

毎週水曜 15時~19時
(無料相談)

労働生活相談

(秘密は厳守します!)

主催: ひとりでも加入できる労働組合・なかまユニオン

当会協賛の催し

4/24(日)エイサー体験教室

無料

10時~12時・向日町会館(競輪場正面入り口南隣)

沖縄の伝統的な太鼓踊り「エイサー」が、今とても注目されています。体験教室であなたも1曲踊れるようになります!

主催: 「月桃の花」歌舞団

エイサーや三線、劇、バンドなどで構成。5月15日に向日市民会館で「ワーキングプア希望宣言! フリーダム~ワタシは人間だ!」の公演予定。

杉谷さんとともにまちを創る会

向日市寺戸町辰巳4-1, 中嶋荘1-101 TEL/FAX 932-1325
ホームページ: <http://sugi.pupu.jp/>

東日本大震災からの早期復興を願います

私たちは、福島原発事故から何を学ぶべきでしょうか？

未曾有の東日本大震災で犠牲になられた方々に、深く哀悼の意を表します。また、被災地が震災被害から早期に民主的に復興をされることを願います。



今回の原発事故で、原発はひとつ間違えば、日本中の国民の生命・健康の安全を根底から脅かす危険があることを、私達は思い知らされました。現時点（3月25日）でも、首都東京を初め東北・関東一円で土壌や水の放射能汚染が報告され、数千万人が放射線被曝の危険な状態に置かれています。事故がこれ以上悪化せずに収束に向かうことを切に願います。

つい百年前にもあった巨大津波 「故意に想定しなかった」電力会社

東京電力は、事故は「想定外」の津波のためと言いますが、「想定外」とは真っ赤なウソです。ほんの100年ほど前の1896年の明治三陸地震津波では、吉浜（現大船渡市）で24.4m、田老（現宮古市）で14.6mなど、各地で10～20m超の津波が押し寄せ、岩手県綾里湾の奥では本州観測史上最高の38.2mが記録されています。電力会社も政府も、もちろん知っています。それなのに、福島原発が想定していた津波は、最高5.7m。大きな津波を想定しては原発が立地できないので、「故意に想定しなかった」のです。これが、電力会社の言う「想定しうる大地震・

津波に対して万全を期している」の実態だったのです。

人ごとでないー若狭湾の原発15基は 想定津波高はわずか2m…危ない！

福井県若狭湾岸は、計15基の原発が立ち並び日本最大の原発銀座です。関西電力が想定している津波の高さはわずか2m以下であることが明らかにされました。ちょっと「想定外」の津波が来たらひとたまりもありません。京都市中心部まではわずか100キロ。今回の事故は対岸の火事ではありません。すべての原発は、一旦停止して徹底的な検証をすべきです。

命と健康が最優先！

**政府は被曝の危険性の情報を隠すな
妊婦や子どもはできるだけ避難！
各地で受け入れ態勢を**

「ただちに影響はない」ー放射能汚染が報告されるたびに、この言葉を聞かされ続けていますが、「安全、安全」と言ってるうちに、首都圏一円の水道水にまで基準値を超える放射性物質が検出されるようになりました。空気も土も水も、すべてが汚染されています。

「ただちに影響はない」とは、「後で影響が出てくる」ことです。空気や飲食物を通して放射性物質が体の中に入ってしまった時の「内部被曝」は、低い線量でも摂取した量に比例して、ガンや健康被害が出るのが様々な調査で実証されています。特に妊娠初期の胎児や小児はその影響が極めて大きいのです。政府は危険性についての情報を広く国民に知らせ、避難の対策をとるべきです。（3月25日記）